

030 八重森町区有文書と目録作成について

1 須坂市八重森町は市の西部に位置し、古代から生産力の豊かな稲作適地として発達してきた古い歴史をもつ地域である。ここは近くを流れる千曲川と百々川の氾濫原で、耕地は冠水しやすく水害との闘いの歴史をもっている。

村の東部に水田が、西部の微高地に集落や畑地が開かれてきている。現在は果樹栽培を主体とした農村地帯として発展している。また、村内を平成 7 年に上信越自動車道が通過するようになって、地価高騰、住宅地拡大、道路・水道・都市ガスなどのライフラインの充実などがあり、住環境が大きく変わりつつある。

2 八重森の名は、鎌倉時代に井上氏の支族矢井守（八重森）氏の名で登場する。慶長 5 年（1600）に森忠政領、同 8 年（1603）には松平忠輝領、元和 2 年（1616）から須坂藩領として明治にいたる。

正保 4 年（1647）3 月の『信濃国郷村帳』によれば、八重森村の石高は、325 石 2 斗 2 升でそのうち田方が 240 石、畑方は 84 石 4 斗 6 升とされている。

『長野県町村誌』によれば、明治 13 年（1880）の戸数は 37 戸で、人口は 177 人となっている。

明治 22 年（1889）の町村合併で、八重森村は、村山村・五閑村・高梨村・塩川村・沼目村と合併して日野村になり、昭和 29 年（1954）に須坂町と合併しその後須坂市となる。

3 八重森町区有文書の総史料点数は 770 点である。それを『須坂市域の史料目録』の連番整理番号「030」（30 番目）に位置付け、つぎのように分類し史料目録を作成した。

分類項目	史料番号	史料点数	箱数
1 江戸時代	10	10	0.5
2 区会計関係	246	272	1.5
3 土地関係	263	10	2
4 寺社関係	29	29	0.5
5 区関係	86	93	2.5
6 その他	115	118	3
総計	749	770	10

4 江戸時代の史料は、10 点ほどで少ない。その中で元文 3 年（1738）の絵図は、たて 1m85cm・よこ 3m18cm の大判絵図で、百々川をはさんで八重森村と村山村の家一軒一軒の場所や田畑の分布の様子が克明に描かれている。当時の村の様子を把握できる貴重な史料である。

区会計関係の史料では、昭和以後のもので、村が「越石」と称して、八重森村への入作者からも区費を徴収していることがわかる。およそ 60 ～ 70 人が入作している。

土地関係の史料では、入会関係と高速道関係の史料が目立つ。

入会関係では、八重森町は江戸時代、当時の高井野村が山元として牧村の山に沼目村など

23 カ村と入会権を共有していた。それがどのような経過をたどって整理されてきたかがわかる史料である。『長野県沼目・八重森入会山史』は、八重森町の入会関係を理解するには貴重な冊子である。

また、関越自動車の建設は記憶に新しい。高速道の通過に住民は、地域を分断し、環境が破壊されるとして通過反対運動をおこした。それがどのような経過のなかで建設を受け入れるにいたったのか、その流れがわかる。

寺社関係では、昭和 21 年以後の史料が中心で、神社本殿の建設や鳥居修理の史料がみられる。

また高速道の建設により墓地組合が結成され共同墓地が整理されたことがわかる。高速道の建設は、住民生活のすみずみにまで影響を及ぼしていたのである。

区関係・その他では、昭和に入ってから史料がほとんどである。

八重森町の代々の区長が在任中に関係した文書を綴ったものが中心である。

5 史料目録の作成にあたっては、史料の現状・存在形態を尊重しつつ、史料閲覧の便宜も考慮して、つぎのようにした。

(1) 史料名は、原則として史料中に記載された表題を、そのまま記載したが、無表題史料などには、つぎのように () をもちいて仮表題を作成して掲げた。

(昭和 34 年度文書綴) (衛生部長会議)

(2) 「記」「覚」などのみで内容不明の史料については、つぎのように () 内に内容を表示したものもある。

記(請取証) 決議(相之島排水機場増強整備)

(3) 特に注目すべき史料については、備考欄に内容を示唆する記事を入れておいた。

(4) 史料形態については、つぎのように略記した。

横(横帳) 横半(横半帳) 縦(縦帳) 紙(一紙)

冊(冊子) 封(封書) 綴(ジョイントを含む) 括 など

6 本史料目録ならびに八重森町区有文書が、八重森町区民をはじめ多くの須坂市民・地域史研究者らによって活用され、須坂市の新たな歴史が開拓される契機となることを願ってやまない。

史料目録の作成にあたっては、八重森町のご理解とご協力を得て、須坂市誌編さん室の下記専門員が分担して作成した。

勝山一男 竹内正勝 小林 裕

(編さん担当：青木広安・丸山文雄)

2009 年 12 月 22 日

須坂市誌編さん室